

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第12項の規定により、平成19年9月6日付け松江市監査委員告示第11号で公表した行政監査の結果に基づき、松江市教育委員会教育長から措置等を講じた旨の報告がありましたので、次のとおり公表します。

平成19年11月19日

松江市監査委員 小松原 操
 松江市監査委員 伊原 正人
 松江市監査委員 田村 昌平

措 置 報 告 書

監 査 結 果	措 置 状 況
<p>(1) 広報広聴活動について 図書館法及び条例に基づき、市立図書館の運営について審議する図書館協議会が設置されているが、年に一度の開催が定例となっており、貴重な学識経験者や関連機関等の情報、知識経験が十分に反映されているとは言い難い。市立図書館のあり方や運営の課題解決について、協議会において様々な角度から議論を重ねられるよう一層の活性化を望むものである。また、昭和61年の開館以来平成19年2月まで図書館に対する市民アンケートが実施されていなかったことは、社会環境の変化に適切に対応すべき文化の殿堂として受身の姿勢ではなかったかと思われる。今後は、現行の利用者とともに未だ利用したことのない市民の意見・要望を積極的に収集し、松江市立図書館が松江市の文化の誇りとして確立されるよう図られたい。</p> <p>(2) 開館時間について 勤労者の勤務時間の多様化等に伴い、他の公共図書館では、開館時間を見直し、閉館の時間を延ばす例が多く見受けられるところである。この時間延長については、市立図書館でもこれまで利用者の声として少なくはなく、市民アンケートにおいても要望事項の上位を占めている。松江市の財政状況が大変厳しく経費削減が求められる中での負担の増加、サービスの質の低下、職員の労働環境等懸念される問題があることは理解できる。しかしながら、完璧な形での開館時間の延長にとらわれなければ、貸出サービス等限定的な時間延長は不可能ではないと考える。市民に十分説明し、理解を求めるとともに、費用対効果の観点を含めて真摯な検討を望むものである。</p> <p>(3) 駐車場について 駐車場の問題については、建設当初に確保されていなかったことから様々な意見が寄せられていた。その後の車社会の急速な伸展に伴い、プラバ</p>	<p>(1) 広報広聴活動について 図書館協議会については、年1回開催となっておりますが、委員の皆様には図書館情報の送付とともに、郵送などで意見をいただく機会を設けていきます。現在、開催時期を含め協議会の持ち方を検討しているところです。 広報広聴については、広く市民の声を聞くには至っておりません。今後は、メールの活用とともに、意見箱を設けるなどして、広く市民の皆様よりご要望をいただきたいと思っております。 図書館から遠いため利用が少ない地域の市民の皆様のご意見・ご要望について、支所・公民館等に意見箱を設置し把握に努めます。</p> <p>(2) 開館時間について 8月、9月の2か月間、開館時間を午後7時まで試行的に延長しました。 18時以降の入館者は1日平均8月21.7人、9月18.9人、利用者は1日平均8月16.8人、9月15.6人でした。 入館者・利用者は曜日、天気等により違いがありましたが、プラバホールでコンサート等の事業があった日は時間待ち等の入館者が多い傾向がありました。 2か月間の試行でしたが、仕事帰りに利用できてよかったという声もあり、ニーズがあることがわかりました。 来年度以降については、職員の勤務形態や今回の試行期間中の課題を整理した上で実施していきます。</p> <p>(3) 駐車場について 駐車場はプラバホール・図書館の利用者用であります。駐車場料金収入はプラバホールの指定管理者収入に一括計上されており、それぞれの利</p>

ホールも併せて需要に対応すべく努力を重ねてこられたことは承知している。しかし、公共図書館そのものは、本来市民誰でもが無料で利用できる文化施設である。現行の30分以内無料では目的の図書の選定さえする時間がなく、結果的に200円を払って図書を借りているとの不満の声がある。また、他市の例をみても、2時間程度までは無料で利用できる駐車場が確保されている。平成19年2月に実施された市民アンケートにおいても駐車場の無料化又は無料時間の延長が要望事項の中心を占めており、改善について十分な検討が必要である。

(4) 松江市立図書館の特色について

「松江市立図書館資料収集方針」において基本方針として「特色のある資料の収集に努める」とされており、目的別収集方針として郷土資料、「水の自然と文化」資料、「小泉八雲」資料などで列記されている。しかし、具体的にこの図書館の特色があまり活用、広告されていない。松江市内で一般に開放されている島根県立図書館との役割分担を含めて松江市立図書館の存在意義について明確にし、積極的に普及、啓発されることを望むものである。

用を明確に区分できない状況です。

現在、試算方法を検討しながら図書館利用者の駐車料金の無料化あるいは無料時間の延長の影響が財政面でどの程度あるかを調査しているところです。

(4) 松江市立図書館の特色について

「市立図書館の特色づくり」については、これまで、「郷土資料」、「水の自然と文化資料」について、特設書架を設けるなどして取り組んできました。特に、小泉八雲関係資料は、約3,500点を収集しており、わが国を代表する資料です。この度、八雲資料のデータベース化を終え、市立図書館のホームページ内に新たに「八雲資料室」を設け、全国の八雲関連施設とのリンクが可能になりました。

また、図書館を「市民の文化、癒しの宿」にするため、8月から来年7月まで1か月単位で「伝統を受け継ぐ匠」に係わる展示をするなど、特色ある図書館活動に取り組んでいます。

今後とも、市立図書館の存在意義をアピールするとともに、積極的に普及、啓発に努めて行きたいと思っております。